



TYPICA

Our Team

山田 彩音

Founder

1984年 兵庫県芦屋市生まれ。立命館大学文学部卒業。学生時代スターバックスのアルバイトを通してコーヒーと出会う。'12年TAKAMURA Wine & Coffee Roastersの立上げを担当しロースターとしてのキャリアをスタート。'14年HOOPのボードメンバーとして活動を開始しロースターとしての経験を積む。'17年国内初のシェアロースターを開始。'19年コーヒー生豆のプラットフォーム事業TYPICAを立上げ、現在アムステルダムを拠点に世界中のコーヒー生産地を訪れている。

後藤 将

Co Founder

1984年 大阪府堺市生まれ。'03年19歳で起業後、現在代表取締役を務めるムトナ株式会社を設立。'12年世界経済フォーラムよりグローバル・シェイパーズに選出され'16年のキュレーターを務める。'13年'14年ダボス会議Japan Meeting出席。'14年 関西学院大学 非常勤講師に就任し「ソーシャル・イノベーション」の講義を開始。'16年英エコノミストEIU発行「SOCIAL INNOVATION INDEX 2016」の制作協力。'19年アメリカ元副大統領アルゴア氏より気候変動対策のトレーニングを受け、Climate Reality Leaderに承認される。

藤井 優衣

Community Manager

1996年大阪府守口市生まれ。'17年ニュージーランドへ留学。現地のカフェ文化に魅了される。'18年HOOPにてセミナーを受講しバリスタになると決意。大学卒業後、HOOP初の新メンバーとしてチームに加わりバリスタとしての経験を積む。'20年ティピカに加わり新たなコーヒー事業を開始。

気候変動と国際価格の暴落によって
コーヒー生産地は2050年までに
50%減少するそうです。

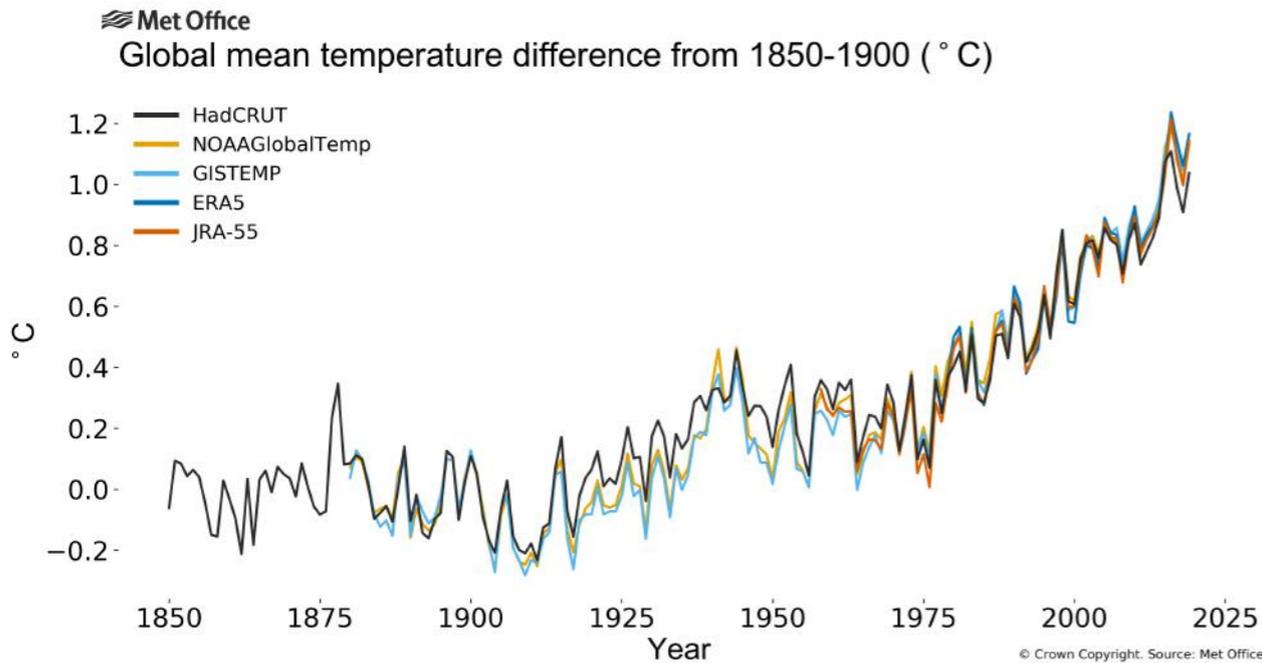
コーヒーはリスクの高い作物となり
他の農業に転作する生産者が増えています。

コーヒーのサステナビリティのために
私たちにできることは何でしょうか。

ダイレクトトレードです。

ダイレクトトレードは コーヒーのサステナビリティに貢献します。

地球温暖化による気候変動



<https://public.wmo.int/en>

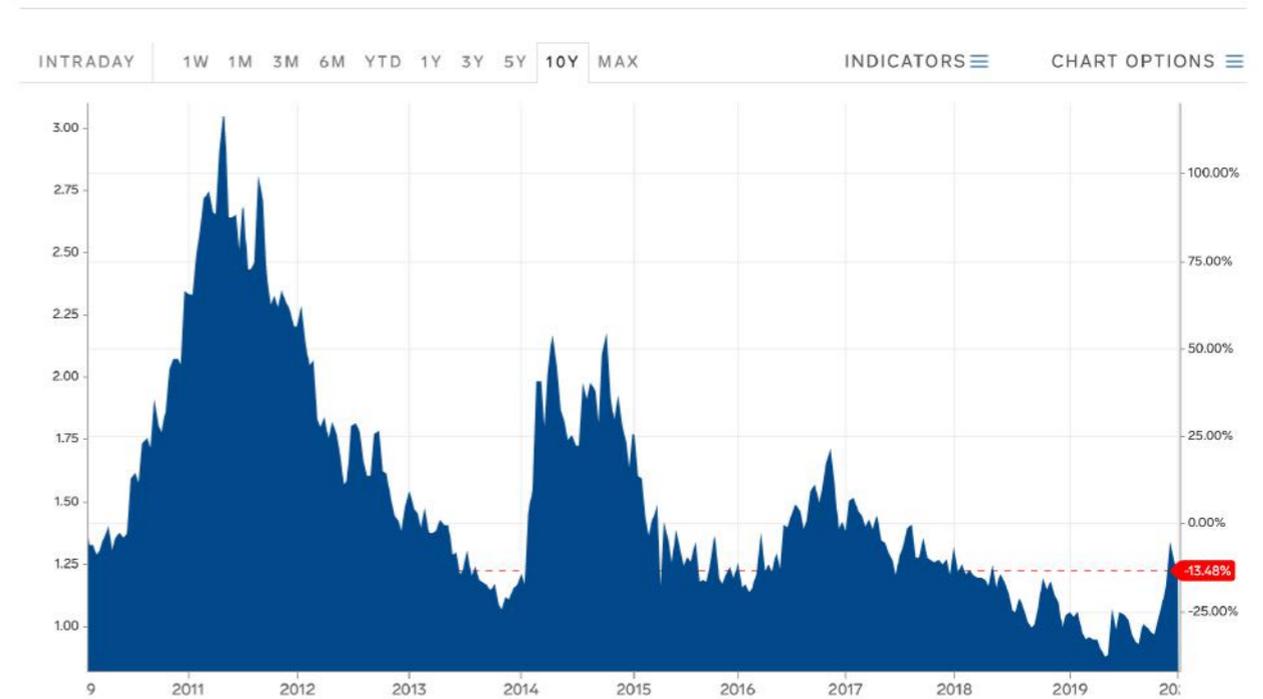


病害などによって農業が困難になる



生産者とコミュニケーションを取り
問題解決に向けて行動することができる

コーヒー国際価格の暴落



<https://markets.businessinsider.com/commodities/coffee-price>



生産者が困窮する



経済透明性を確保し
品質に対して報酬を支払うことができる

なぜ、ダイレクトトレードは難しいのか？



- コンテナ単位（18トン=300袋）は量が多すぎる。
- 少量で輸入すると、輸送費が高く採算が合わない。
- 輸入時のトラブルなどリスクが怖い。
- 頻繁に生産国を訪れるのが難しい。

TYPICAは
テクノロジーとシェアリングエコノミーによって
ダイレクトトレードを可能にします。

TYPICAの役割

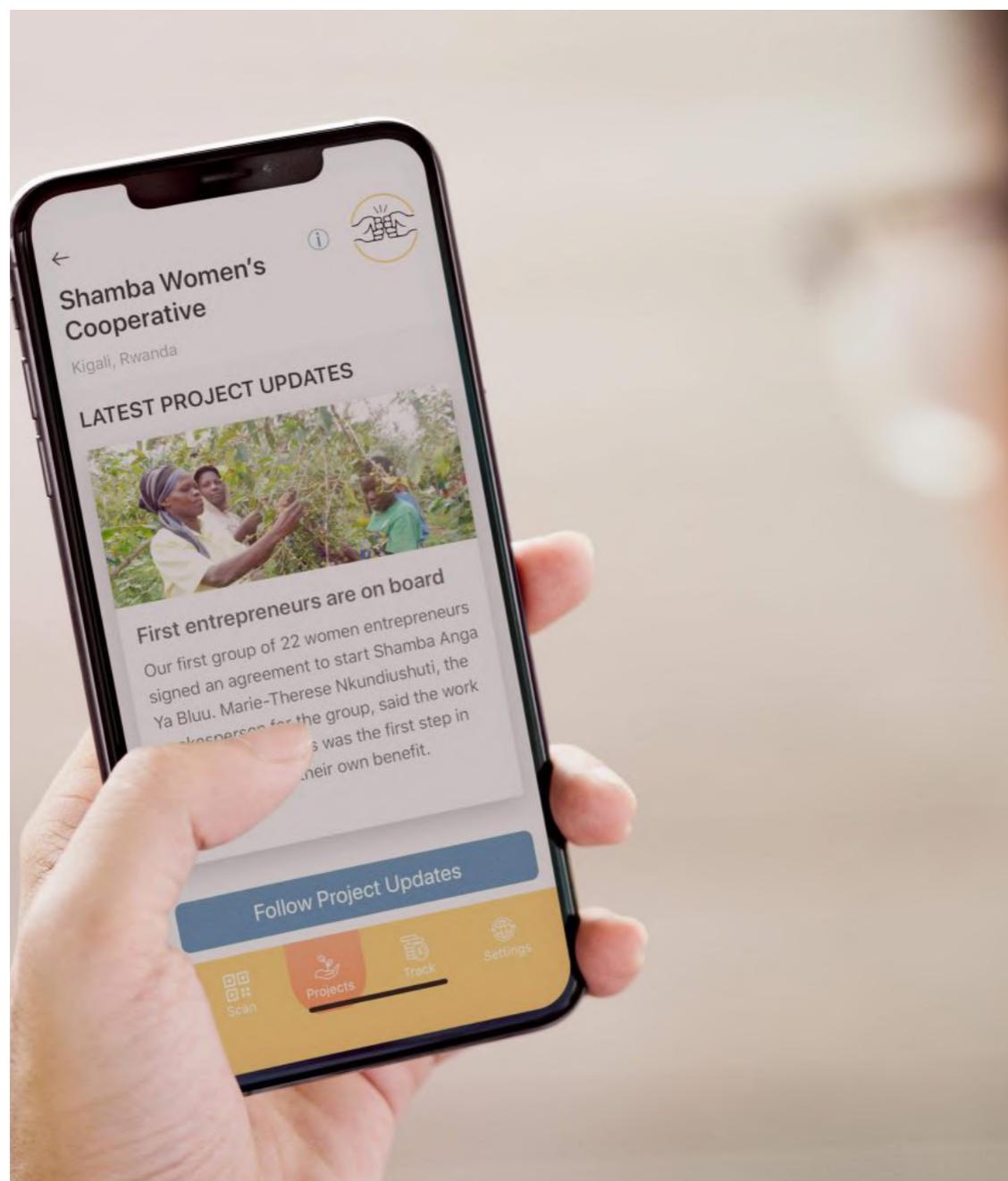
これまで



これから



オンラインプラットフォームとは？



- 生産地を巡るように、オンラインで生産者と出会うことができます。
- 生産者のページには生産地の情報が掲載されています。
- オンラインで生産者とコミュニケーションを取ることができます。
- オンラインでサンプル依頼やオーダーをすることができます。

オンラインプラットフォームのイメージ (現在構築中です)

<https://hub.cropster.com/>

<https://thissideup.coffee/>

<https://www.airbnb.jp/>

どんな生産者がプラットフォームに登録される？



- 私たちと価値観を共有する、そしてビジネスの相手として信頼できる生産者とパートナーシップを結びます。
- そして生産者が自らプラットフォームに登録し、自分のコーヒーを世界中で販売できるようになります。
- 生産地や生産者のリクエストがあれば、是非お聞かせ下さい。

コンテナシェアとは？

- 生産地ごとに複数のロースターさんのオーダーを取りまとめ、ひとつのコンテナで輸送します。
- コンテナをシェアすることで、少量の輸入でも輸送費を抑えることができます。
- 一袋からオーダー可能です。



オーダーの流れ

サンプルリクエスト

ご希望のサンプルをお届けします。
また全国各地で
プレゼンテーションカップリングを
開催予定です。

オーダーメ切 お支払い

- オーダーメ切日はカップリングの約一週間後です。
- 商品代金+送料+手数料の請求書をお送りします。
- ご入金後、現地から生豆が発送されます。

到着・納品

基本的に全数一括納品です。
倉庫保管が必要な方は
ご相談下さい。

プラットフォームのオープンに先駆けて
この春、エチオピアのニュークロップを
ご紹介します。

Curators in Ethiopia



Moplaco Trading PLC

モプラコ社は、エチオピアで最も古い輸出業者の一つです。代表のエレアナはお父さんの事業を受け継ぎ、主要生産地に自社の精製所を構え、独自の品質を追求しています。モプラコ社のみなさんは、穏やかで思いやりの深い方ばかりです。どの精製所もきちんと整理され、隅々まで掃除されていました。このような環境で精製されたコーヒーは、品質が高いに違いないと確信しています。



Wete Ambela Coffee

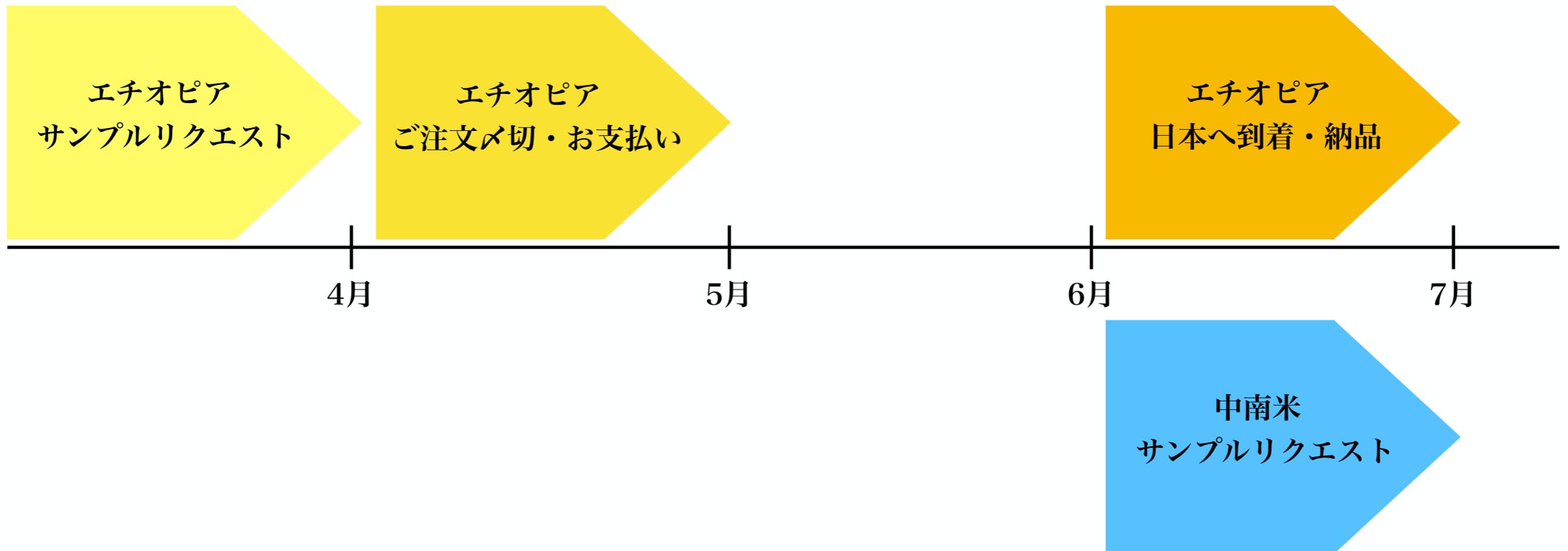
ウェテアンベラコーヒーは、生産者が立ち上げた、2018年創業のスタートアップの輸出業者です。代表のメクリアは元々農家の生まれではなく、一からコーヒーの生産を始めました。昨年のロットはノルディックアプローチ、トラボッカ、カウンターカルチャーコーヒーなど一流の輸入業社から高く評価され、今年も大いに期待できます。マイクロロットは日本初上陸です。



Oromia Coffee Farmers Cooperative Union

オロミア農協は、1999年に設立されたエチオピアで最も組合員数が多い農協です。ドキュメンタリー映画『おいしいコーヒーの真実』にもなった彼らの活動は、エチオピアにおけるフェアトレードの礎を築きました。ユニオンは利益の70%を地方の農協に還元します。

Schedule



※予定は変更される場合があります。

さあ、世界中の生産者とつながりましょう！



CONTACT 

hello@typica.jp